



PRESS RELEASE

2016年11月30日

各位

会社名 株式会社AWSホールディングス
代表者名 代表取締役社長 青木 正之
(コード番号: 3937 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理本部長 石津 直幸
(TEL. 03-5803-7339)

ソフトバンクとIBM Watsonエコシステムパートナー契約を締結
「IBM Watson」を活用した新ソリューションおよびサービスの提供へ
金融・医療分野等におけるソリューションを創出

主にフィリピンでのオフショア拠点を活用したITソリューション開発事業とレセプト点検専用ソフトウェアの開発および販売を行うメディカル事業を展開する株式会社AWSホールディングス（本社：東京都文京区、代表取締役社長：青木 正之、証券コード：3937）は、ソフトバンク株式会社とIBM Watsonエコシステムパートナー契約を締結し、ソフトバンク株式会社が日本アイ・ビー・エム株式会社と共同で構築・提供するIBM Watsonエコシステムプログラムに参画します。

IT調査会社ガートナー社の最新のテクノロジー予測レポート「Hype Cycles 2016 Research Report」によると、人間に近い感覚にて知覚・学習・適用されるAI（人工知能）によってもたらされる「コグニティブ コンピューティング※」は、高度な競争優位性をもたらす、組織にとって最優先の、最も破壊的なテクノロジーであると報告されております。

次世代型システムおよびR&D型ソリューションサービスを提供するAWSグループは、当社グループが定義する3Aの分野「Automation（ソフトウェアテスト自動化）」「Analytics（分析）」「AI（人工知能）」を戦略的事業領域と位置づけており、IBM Watsonエコシステムプログラムに参画することにより、様々な業界において協業を推進し、積極的にIBM Watson日本語版を活用したソリューションサービスを提供することが可能となります。

当社グループが注力する金融・医療、そして製造業・ロボティクスの分野における事業モデルやそれぞれの業界における協業先とのパートナーシップ、そしてバイリンガルな環境におけるR&D型オフショア開発実績と750名を超えるトップノッチ・エンジニアにレバレッジをかけるべく、今後はIBM Watsonをドライバーに新たな市場開拓に邁進してまいります。

IBM Watsonは、コグニティブ・コンピューティングを実現するためのプラットフォームです。クラウド上で提供されるIBM Watsonは、大規模なデータを分析し、自然言語で投げ掛けられた複雑な質問を解釈して、根拠に基づいた回答を提示します。

IBM Watsonの詳細は、日本IBM公式サイト (<http://ibm.biz/watsonjp>) をご覧ください。

IBM Watsonエコシステムプログラムは、日本市場でIBM Watsonを活用したサービスの導入を推進させるため、ソフトバンク株式会社が日本アイ・ビー・エム株式会社と共同で構築・提供しているパートナープログラムです。

IBM Watsonエコシステムプログラムのエコシステムパートナーには、IBM Watsonを活用したアプリケーションやサービスを提供する「ビジネスパートナー」と、IBM Watsonの導入コンサルティングやIBM Watsonと接続するアプリケーション開発などの技術的支援を行う「テクノロジーパートナー」の2種類があります。

IBM Watsonエコシステムプログラムの詳細は、ソフトバンク 法人向けサービスサイト (<http://www.softbank.jp/biz/watson/>) をご覧ください。

IBM Watsonは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。

※「コグニティブ(cognitive)」は人工知能領域の一部であり、「経験的知識に基づいた」「認知の」と訳される。コグニティブ・コンピューティング・システムはヒトの脳の能力を模倣し、感覚・知覚・行動などさまざまな情報原から得た大量データを組み合わせ、瞬時に分析する。人間の技術者が設計する従来型コンピューティング・システムとは大きく異なり、自発的・自律的に学習するだけでなく、自身でプログラム修正を行う能力も備えている。

■ 本件に関する問い合わせ <http://www.aws-hd.com/about-us/contact-us.html>

以 上